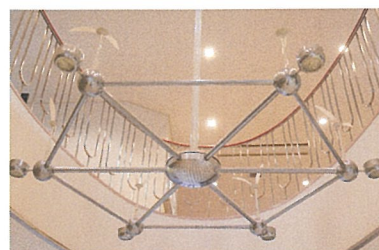


ミライを描こう
DRAW YOUR FUTURE

WAKASA NURSING SCHOOL

2026 学院案内
公立若狭高等看護学院





看護とは

新鮮な空気、陽光、温かさ、清潔さ、
静けさを適切に保ち、食事を適切に選択し、
管理すること。すなわち、患者の生命力の消耗を
最小にするようにすべてを整えること。

（フロレンス・ナイチンゲール）

夢の実現に向けての 第一歩を踏み出すために

公立若狭高等看護学院は、1990年に福井県嶺南地域で活躍する看護師を育成するために、地元自治体（小浜市、若狭町、おおい町、美浜町）による病院組合の事業として設立されました。そのため隣接する杉田玄白記念公立小浜病院をはじめとして、近隣の医療機関、介護福祉施設等と連携して学生への教育・実習などを提供できる恵まれた環境にあります。2025年3月には第33期生が卒業しました。この間、本学院で学んだ855名が卒業し、県内外の様々な職場で活躍を続けております。杉田玄白記念公立小浜病院の師長、また専門的な認定看護師の資格を取得し地域医療の牽引役として活躍している卒業生、さらにより多くの地域住民の健康を守るために活動している保健師など、嶺南・若狭地域住民の健康を支えているのが皆さんの先輩たちです。

本学院の教育理念の中には、若狭地域の保健・医療・福祉の向上に貢献する人材を育成するという高等看護学院としての本来の目的と同時に、豊かな人間性に満ちた人材を育てることも謳っております。皆さんが学院の3年間の講義や実習をとおして、修得すべき知識や能力はたくさんありますが、同時に学院で学ぶ3年間に、患者さん・ご家族、同期の仲間や教員との関わりのなかで一人の人間として成長することも重要です。卒業式を迎えた時に、人としての成長を実感し楽しい充実した3年間であったと笑顔で振り返ることができるよう私たち職員一同サポートしてまいりたいと思います。皆さんがそれぞれの夢を実現できるよう、日々の学習に加え、併設の杉田玄白記念公立小浜病院・介護老人保健施設アクール若狭等の臨地実習を有効に活用し、仲間を大切に一人前の看護師を目指し励んでいただけたらと思います。

公立若狭高等看護学院 学院長
杉田玄白記念公立小浜病院 病院長

菅野 元喜 医学博士

略歴

すがの もとき／1985年京都大学医学部卒業。京都大学病院及び、関連病院にて外科医として経験を重ね、生体肝移植や内視鏡手術に携わる。2024年10月より現職。



公立若狭高等看護学院とは

- ✓ 若狭地域の四市町で設けた一部事務組合を設置主体とする、3年課程の看護専門学校です。
- ✓ 1990年（平成2年）に開校し、855名の卒業生を社会に送り出しています。
- ✓ 看護師国家試験は、高い合格率を維持しています。

教育理念

人間の生命と尊厳を尊重することを基本に、今ある自己を認め、対象を深く理解するための姿勢を育み、主体性と共感的態度を持ち合わせた豊かな人間性に満ちた人材を育成する。これらを基盤として、看護実践に関する総合的な基本的能力を養成し、看護の社会的機能を担い、若狭地域の保健・医療・福祉の向上に貢献する人材を育成する。

教育目的

看護に必要な知識・技術を教授するとともに、人として成長し続ける力を身につけることのできる教育を行う。また、主体的、継続的に学習する態度を育み、若狭地域の保健・医療・福祉の向上に貢献できる看護の実践者を育成する。

教育目標（ディプロマ・ポリシー）

1. 専門職業人としての倫理に基づいて、行動できる。
2. 人間の多様な価値観を尊重し、他者との関わりから自己を振り返り、対象に応じた人間関係を築くことができる。
3. 地域で生活する人々の健康の保持増進、疾病の予防、健康の回復にかかわる看護を、健康や障がいの状態に応じて実践することができる。
4. 人間を身体的・精神的・社会的な側面から統合的にとらえ、科学的思考に基づいた臨床判断を行い、看護を実践することができる。
5. 保健・医療・福祉チームの一員として看護の責務と多職種の役割を理解し連携・協働することができる。
6. 社会情勢に関心を向け、保健・医療・福祉のニーズに対応できるよう、最新の知識・技術を自ら学び続けることができる。

入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

本学院は次のような人を求めています。

1. 看護を学ぶために必要な基礎学力が身についている人。
2. 人間や社会に強い関心がある人。
3. 人を思いやる気持ちを持ち、他者と協調して人間関係を構築できる人。
4. 自分の思いや考えを、自分の言葉で表現することができる人。
5. 主体的に考え、自己の能力を高めるために持続的に学習できる人。
6. 将来、若狭地域の保健・医療・福祉分野に貢献したいという意思を有する人。



Curriculum

カリキュラム

14単位

基礎分野

人間理解の視野を広げ、患者をより深く尊重し、その心の動きにも目を向けることを学びます。

1 年次

哲学
生命倫理学
心理学
行動科学
理科一般
社会学
論理的思考と文章表現法
教育学
人間関係論I
スポーツ科学
臨床英語
基礎キャリアゼミナール

2 年次

情報科学
人間関係論II



専門基礎分野

健康・疾病・障がいの理解や生活者である人の生きる権利、それを保障する社会福祉制度や、目標に向けてともに働く多職種連携の基本を学びます。

1 年次

解剖生理学(総論・神経系・感覚器系)
解剖生理学(呼吸器系・循環器系・消化吸収・代謝・排泄)
解剖生理学(内分泌系・血液・生体防御機能)
解剖生理学(骨格筋系・生殖器系)
生化学
微生物学
病理学
中枢神経機能障害
生命維持機能障害
栄養摂取・消化吸収・代謝・排泄機能障害
内部環境調節・生体防御機能障害
臨床検査学
臨床薬理学
臨床栄養学
医療論
生活者と健康



2 年次

運動・皮膚機能障害
性・生殖機能障害
治療論
社会保障制度
看護関係法規I
多職種連携

3 年次

看護関係法規II

23単位

専門分野

人間のライフサイクル等に応じた特徴と健康上の問題を明らかにし、多様な価値観を尊重しながら看護を提供するための知識と技術を学びます。

1 年次

基礎看護学概論
看護理論
看護の基礎となる技術
日常生活援助技術(環境・活動・休息)
日常生活援助技術(清潔)
日常生活援助技術(食事・排泄)
フィジカルアセスメント
症状別看護
経過別看護
看護過程I
地域・在宅看護論概論
地域・在宅看護論各論I
成人看護学概論
老年看護学概論
小児看護学概論
母性看護学概論
精神看護学概論
基礎看護学初期実習
基礎看護学実習I
地域・在宅看護論実習I

2 年次

生体機能管理技術
診療補助技術(与薬)
看護過程II
地域・在宅看護論各論II
地域・在宅看護論各論III
地域・在宅看護論各論IV
地域・在宅看護論各論V
成人看護学各論I
成人看護学各論II
成人看護学各論III
成人看護学各論IV
成人看護学各論V
老年看護学各論I
老年看護学各論II
老年看護学各論III
小児看護学各論I
小児看護学各論II
小児看護学各論III
母性看護学各論I
母性看護学各論II
母性看護学各論III
精神看護学各論I
精神看護学各論II
精神看護学各論III
基礎看護学実習II
地域・在宅看護論実習II
成人看護学実習
成人・老年看護学実習I
老年看護学実習

3 年次

医療安全
災害看護と国際看護
看護管理と看護政策論
看護研究
看護技術の総合評価
地域・在宅看護論実習III
成人・老年看護学実習II
小児看護学実習
母性看護学実習
精神看護学実習
総合実習



専門看護師・認定看護師からの学び

本学院では、さまざまな領域の看護を深く学び実践的なスキルを身につけられるよう、隣接する病院から専門看護師や認定看護師を招き、専門的な知識や技術を学べる機会を提供しています。



災害時の混乱を HAG (災害救護所運営ゲーム) で再現。皆で体験しながら、隣接病院の災害看護専門看護師による本格指導が受けられます。



地域・病院と連携したリアルな学び

小学生に保健教育を実施

母性看護学各論IIIの授業では、本学院2年生が小浜市内の小学4年生に対して性教育を実施。子どもたちに健康な成長を支える大切な知識を伝えています。



Schedule

年間実習スケジュール



実践で身につける知識・技術・コミュニケーション力

1年次より地域特性と地域が求める支援ニーズを知るため地域・在宅看護論実習を配置。医療機関のみならず、若狭地域で生活する人々の健康を支える看護実践能力を育成します。



	01 year	02 year	03 year
4月			成人・老年看護学実習Ⅱ
5月			小児看護学実習
6月		成人看護学実習	地域・在宅看護論実習Ⅲ
7月	基礎看護学初期実習	老年看護学実習	精神看護学実習
8月			
9月		基礎看護学実習Ⅱ	母性看護学実習
10月	地域・在宅看護論実習Ⅰ		
11月			総合実習
12月	基礎看護学実習Ⅰ	地域・在宅看護論実習Ⅱ	
1月			
2月		成人・老年看護学実習Ⅰ	
3月			

※2年次2月から3年次9月までの専門分野実習は、学生が所属するグループによって履修する順番が変わります。

主な実習施設

公立小浜病院組合施設
杉田玄白記念公立小浜病院
レイクヒルズ美方病院
アクール若狭

国立病院機構 敦賀医療センター
JCHO 若狭高浜病院
近隣市町訪問看護ステーション
近隣市町介護老人保健施設
近隣市町保健施設
近隣市町診療所

若狭つくし会
市内保育園
福井県立嶺南東特別支援学校
福井県立嶺南西特別支援学校

Introduction

取り組み



看護師だから できることがある

看護師は、誰かの力になることのできる、また社会に貢献できる職業です。
未来のための力を身につける3年間、公立若狭高等看護学院で共に学びましょう。

学院の取り組み

「自ら学ぼうとする力」を育む

01

目的に向かってやる気を持って取り組める学習形態、内容を心がけています。また、主体的に学習できる環境として、情報通信技術(ICT)教育用コンピュータシステムを導入しています。

きめ細やかな指導

02

担任制を取り入れ、1学年40名、少人数のメリットをいかした指導をベースにしています。一人ひとりの学生の学習状況に目を配り、スムーズな知識や技術の習得のサポートに努めています。また、カウンセラーも配置しています。

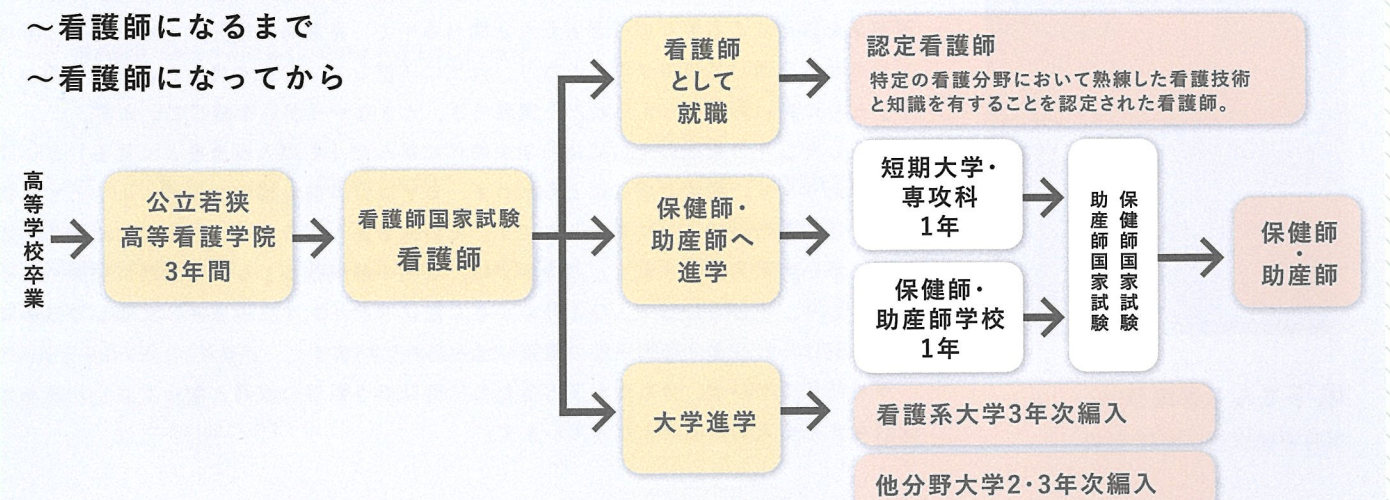
1年次から 国家試験対策を スタート

03

入学前からの学習支援に始まり、授業の進度にあわせた確認テストや補講など、国家試験のために1年生から段階的に計画して取り組んでいます。

公立若狭高等看護学院に入学

～看護師になるまで
～看護師になってから



※大学進学・編入に関しては、各大学によって内容が異なります。

Carrer Path

進路

卒業生の現在

支えられ、支える立場へ

小浜病院の救命救急センター 2 階に配属され、4 年目になります。急性期病棟での勤務は忙しく、患者さんの命を預かる責任の重さを日々感じています。ときには押しつぶされそうになることもあります。先輩方の丁寧な指導や励ましに助けられ、一人ひとりに合った看護を考え、実践できていると感じています。看護師として働く中で、患者さんやご家族から感謝されることはもちろんうれしいですが、患者さんの大変な時期に関わらせていただいている時が、看護師になってよかったと心から思える瞬間です。また、患者さんをより良い状態にしていきたいという共通の目標に向かって、仲間とともに頑張れる、サポートし合える職場で働けていることも、大きな働きがになっています。

在学中、先生方がつらい時やうまくいかなかった時に寄り添ってくれたように、今後は私も、実習生や後輩が安心して働ける環境をつくれるよう努力していきたいと考えています。



片山さん〈看護師〉
杉田玄白記念公立小浜病院
救命救急センター 勤務

助産師として、家族のはじまりを支える

私が勤務している公立小浜病院では、主に妊娠・分娩・産褥期にある女性やその家族、新生児・乳幼児に対して、専門的な判断と技術に基づいた必要なケアを提供しています。また、助産師の大きな役割として、女性のライフサイクル全体を支えることも挙げられます。当院では、産婦人科に入院される方の看護はもちろん、ウィメンズ・ヘルスケアを通じて地域社会と連携した活動も行っています。

分娩の場面では、赤ちゃんが無事に生まれてくるまで常に緊張感と不安が伴いますが、「新しい生命の誕生」はご家族にとってかけがえのない瞬間です。特に、ご両親が生まれてきたばかりのわが子を抱き、幸せそうな表情をされている姿を見るたびに、助産師になって本当によかったと実感します。

学生時代には、緊張の中でも自分の意見や疑問を指導者に積極的に伝える姿勢を大切にしてきました。その姿勢が多くのご指導につながり、今の自分の成長に大きく寄与していると感じています。入職後もその経験は活かされており、先輩方や医師と積極的にコミュニケーションを図る力となっています。日々の業務では、知識の習得や、患者様に関する報告・連絡・相談を意識的に実践する姿勢の基盤になっています。

今後も初心を忘れず、先輩方のような素敵な助産師になれるよう、自己研鑽を重ね、成長し続けていきたいです。



小堂さん〈助産師〉
杉田玄白記念公立小浜病院
本館 4 階病棟 勤務

人と繋がることの楽しさを実感

私は現在、養護教諭として、保健室に来室する子どもたちへの対応や、全児童の健康状態の把握、毎月の保健目標に沿った健康教育や指導を行っています。日々、けがや体調不良を訴えてくる多くの子どもたちと関わる中で、来室時には元気がなくても、手当てや声かけを通じて表情が明るくなり、元気に下校していく姿を見ると、自分の関わりが子どもに良い影響を与えられたと実感でき、大きなやりがいを感じています。

こうした日々の実践の土台には、学生時代に学んだ「その人自身をよく見る」という姿勢があります。症状や病名にとらわれず、まずは目の前の相手を理解しようとする姿勢は、当時から大切にしてきたことです。その人をよく知ることで、本当に必要な支援や寄り添い方が見えてきます。この学びは、現在の養護教諭としての実践にも深く結びついており、子どもたち一人ひとりの小さな変化やサインを見逃さず、安心して気持ちを打ち明けられるような関係性の構築に活かされています。

学生時代の学びが、今もなお子どもたちに寄り添う姿勢の根幹となっており、日々の実践を支える大切な視点となっています。



塚下さん〈養護教諭〉
福井市清水西小学校 勤務

卒業後の進路 （新名称で表記）

就職 県内嶺南地域を中心に多くの卒業生を送り出しています。

< 県内 >

杉田玄白記念公立小浜病院

市立敦賀病院

国立病院機構敦賀医療センター

医療法人保仁会泉ヶ丘病院

若狭町国民健康保険上中診療所

福井県立病院

福井赤十字病院

福井愛育病院

医療法人厚生会福井厚生病院

岩井病院

JCHO 福井勝山総合病院

< 県外 >

大阪大学医学部付属病院

医誠会 国際総合病院

甲南医療センター

三田市民病院

福寿会病院

進学 進学希望者には、個別な対応を心がけています。

金沢大学養護教諭特別別科

聖泉大学別科助産専攻

京都府医師会看護専門学校（助産科）

Student Voice

学生たちの声

仲間と学び合う アットホームな環境

1年
山田さん

私は、将来、若狭地域に貢献できる看護師を目指しています。本学院を選んだのは、隣接する病院だけでなく、さまざまな地域施設で実習が行える点に魅力を感じたからです。

また、私は社会人として入学したため、周囲と上手くやっていけるか、勉強のプランがある中でやっていけるかという不安がありました。しかし、年齢に関係なく話しかけてくれるクラスメートや、グループワークの多さがきっかけとなり、自然と誰とでも話せるようになりました。現在は、とてもアットホームな環境の中で、安心して学生生活を送れています。

さらに、入学後は「個人で看護師を目指す」というだけでなく、同じ目標を持つ仲間と意見を交換しながら学ぶことに、新たな魅力を感じました。勉強面でも、どのような内容に取り組めばよいのかを丁寧に伝えてくださるため、安心して学習に臨むことができています。

学びのそばに、 誰かがいる安心

2年
阿部さん

先輩・後輩・先生との距離が近いことが、この学院の大きな魅力です！私は学生寮を利用しているため、入学当初は勉強やクラスに馴染めるかどうかに加えて、生活面にも不安がありました。しかし、先輩方にたくさん助けていただき、先生も常に気にかけてくださったおかげで、すぐに学校生活に慣れることができました。

授業では、聞き慣れない専門用語が多く、理解するのに時間がかかることもありますし、テストも多くて大変です。それでも、先生方がとても親身になってサポートしてくださるので、安心して学んでいます。看護技術の練習では、先輩からアドバイスをもらうこともあり、学びやすい環境が整っていると感じます。

また、早い時期から実習が始まるため、看護の現場を体験でき、卒業後の進路を考えるきっかけにもなっています。同じ「看護師になる」という目標を持った仲間がいることで、毎日頑張ることができています。大変なことばかりではなく、学生交流会や学院祭など、楽しい行事もたくさんあります。毎日が充実していて、とても刺激のある毎日です。

看護師への道を歩む 皆さんへ伝えたいこと

3年
田中さん



私は高校2年生の頃、小浜病院の外来を受診した際に、患者さんに寄り添い、優しく支える看護師さんの姿を見て、自分も誰かの力になれる看護師になりたいと思いました。その思いを胸に、公立若狭高等看護学院への入学を決意しました。入学当初は、初めて学ぶ専門知識や技術についていけるか不安もありましたが、先生方のあたたかい指導や仲間たちと励まし合いながら学ぶ中で、少しずつ自信が芽生えていきました。

特に印象に残っているのは、実習で患者さんと関わった経験です。ケアやコミュニケーションを通して、患者さんが抱える問題を一緒に考え、看護問題を整理した上で関わり続けたことで、信頼関係を築くことができました。そして、ケアを終えたときに「ありがとう」という感謝の言葉をいただき、看護の力を実感することができました。この経験を通して、知識や技術だけでなく、患者さん一人ひとりの背景や思いを大切にしながら関わる姿勢の重要性を学びました。実習を重ねる中で、自分自身も大きく成長できたと感じています。

将来は、患者さんの個性に沿って、その人らしさを尊重しながら関わるができる看護師になりたいと考えています。これから看護師を目指す皆さんも、不安や迷いがあるかもしれませんが、この学校には、共に支え合いながら成長できる仲間と、親身になって導いてくださる先生方がいます。ぜひ一歩踏み出して、自分の夢に向かって進んでください。

学院施設

レンガタイル3階建ての学院内に、学生が主体的に学習できるよう必要な設備を整備しています。学生用タブレット40台、フリーWi-Fiが整備されています。



1Fロビー



看護実習室1



看護実習室2



図書室



教室



屋上

Student Life

学生生活



学院の行事

色々なイベントを楽しんでいます。

学生一人ひとりが充実した学生生活を送れるように、学生会活動を行っています。様々な委員会があり、1年生から3年生までの縦の繋がりを意識して楽しく活動しています。どの委員会も学年を超えて交流があるため、とても仲が良く、困った時などは先輩に気軽に相談できる環境です。

EVENT SCHEDULE

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
健康診断 新入生ガイダンス 新入生研修 入学式	学生会活動(学生交流会)			オープンキャンパス	杉田玄白記念公立小浜病院 看護師との看護を語ろう会	防災訓練	学生会活動(公看祭) 解剖見学	杉田玄白顕彰祭		看護師国家試験	卒業式 卒業記念講演 看護宣誓式



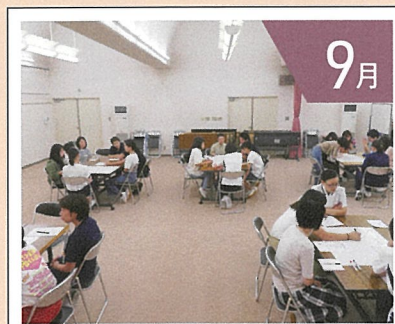
入学式

これからはじまる3年間に、胸がときめく入学式。



新入生研修

学生間の交流をはかります。



看護を語ろう会

実際の事例をもとに学生と看護師が看護について大いに語り交流します。



公看祭

みんなで取り組む学院祭の充実感は最高！



看護宣誓式

看護師を志す者として、目指す看護師像に向かって学ぶ自覚を高める式です。



卒業式

看護師としての第一歩を踏み出す、決意の卒業式。

学院から徒歩約3分 ひとり一部屋、自炊もOK

駅やバス停に近い

スーパー、ドラッグストアも近くにありますが



学生寮

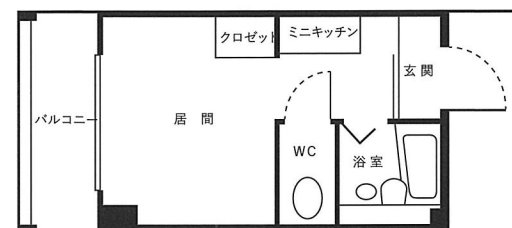
近くにスーパーもあり、セキュリティー完備

寮費 4,500円/月 (光熱費、水道代など別途)

間取り・専有面積 1ルーム・15.6㎡

設備 バス トイレ ミニキッチン エアコン インターホン

築21年 鉄筋コンクリート造り



室内見取図

1ヵ月の生活費って、どれくらい？

Aさんの場合 1ヵ月 46,000円	Bさんの場合 1ヵ月 23,500円	Cさんの場合 1ヵ月 39,000円
寮費 4,500円	寮費 4,500円	寮費 4,500円
光熱費など 6,500円	光熱費など 4,000円	光熱費など 9,500円
食費 15,000円	食費 15,000円	食費 25,000円
娯楽費など 20,000円		

※福井県嶺南地域、舞鶴市の方は対象外・敷地内禁煙

修学資金制度等について

返還不要の給付型修学資金をはじめ、各種奨学金制度が充実しています。併願も可能ですので、お気軽にご相談ください。

公立小浜病院組合修学資金制度

●公立若狭高等看護学院に在学される学生で、卒業後、直ちに公立小浜病院組合並びに関係市町が運営する病院、診療所、介護保健施設及び保健福祉施設（以下「医療機関等」という。）において看護業務に従事する意志のある方に「公立小浜病院組合修学資金」を貸与します。

●看護師等の資格を取得後、3年間、医療機関等で看護業務に従事した場合は、修学資金の返還の義務を免除するほか、一定の事由又は組合長が認めた特別の事由に該当する場合は、返還の義務を免除します。

〔貸与対象者〕

公立若狭高等看護学院に在学し、将来、医療機関等において看護業務に従事する意志をもち、組合長が適当と認める学生。審査があります。

〔貸与額〕

月額50,000円（無利子で、毎月1ヶ月分を貸与します）

教育訓練給付金制度

・社会人入学対象の給付金制度です。

・本学院は、専門実践教育訓練給付制度厚生労働大臣指定講座となっています。支給対象に該当する方は最寄りのハローワークに申請することにより教育訓練給付金を受給することが出来ます。

※その他、各種医療機関で修学資金制度を運営している場合がありますので各自でお問い合わせください。

Training Facility

実習施設紹介

学院のとなりの実習施設 杉田玄白記念公立小浜病院



実習の基本はマンツーマン 同じ敷地内で密接に連携しています

所在地	福井県小浜市大手町2番2号
設立形態	一部事務組合立病院（小浜市、若狭町、おおい町、美浜町）
代表者	組合長（小浜市長）
病床数	456床
診療科	内科・循環器内科、救急総合診療科、精神科、小児科、外科・消化器外科、整形外科、形成外科、脳神経外科、心臓血管外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻いんこう科、リハビリテーション科、放射線科、麻酔科、病理診断科、歯科口腔外科
特殊診療機能	○救命救急センター（ICU・CCUなど）○健診センター ○HCU（準集中治療室）○血液浄化センター ○画像診断センター ○小児療育センター

教育の専門講習を受けた 実習指導看護師を多数配置

杉田玄白記念公立小浜病院は明治16年（1883年）に創設されました。140年の歴史があり、全国の自治体病院でも4番目に古い医療機関です。若狭地域の中核病院として、一般病棟をはじめ地域包括・精神・療養・感染・結核・救命救急センター・血液浄化センターと幅広い病棟が整備されています。

実習は公立若狭高等看護学院の設立時より受け入れています。学生の実習指導は、福井県看護協会主催の実習指導者講習会で教育方法の専門知識を修得した看護師が担当しています。学生一人に対し、一人の実習指導看護師がきめ細やかな指導を行い、看護実践能力がしっかりと習得できるように注力しています。病院は学院と同じ敷地内にあるため、看護教員と実習指導看護師は、定期的に合同会議の場を設け、学生にとってより良い実習環境が提供できるよう努めています。



【教育担当】
看護部副部長
北村真由美



【実習指導者】
主任看護師
山本朋美

人として大切な“感性” いっしょに学ぶ気持ちで取り組む

実習生を指導することで、わたしたち看護師のスキルやモチベーションが高まることも多く、受け入れには積極的です。当病院の看護師の半数以上が公立若狭高等看護学院の卒業生です。ここで実習を受けた看護師が実習指導看護師になっている場合も多いので雰囲気良く、充実した内容の実習が行えていると自負しています。学生たちはいずれ自分たちの仲間になる卵、ということもあり、スタッフ全員で学生指導に取り組んでいます。実習では、看護するうえで必要な人としての“感性”を高めていくことも大きな課題のひとつです。学生は一生懸命のあまり、目の前のことでいっぱいになりがちなので、時間の余裕をつくってじっくり話し合うことを心がけています。



小浜ってどんなところ？



歴史的にも重要な拠点として栄えた小浜には、今も当時の面影を残す建物や町並みが残っています。また、国宝の宝物を収めた神社仏閣も多く点在し、あちこちで歴史を感じることができます。また、日本海で獲れる豊富な海の幸は、評判の美味しさで古くから朝廷料理の食材として京都へ運ばれるほどです。昔懐かしい町並みと美味しいグルメが豊富な小浜は、日本海に面した小京都ともいわれる情緒豊かな町です。

History 古くて懐かしい町並みが残る歴史の町

古くから城下町として栄えた小浜は、今もあちこちに古い町並みが残る情緒豊かな町。重要伝統的建造物群に指定される西組地区には、昔懐かしい町並みが続きます。なかでも昔茶屋街として栄えた三丁町は趣のある建物を利用したカフェなどもある人気のスポットです。



Gourmet 美味しいグルメがいっぱいの食の町

小浜はその昔京の都に食材を提供する御食国でした。代表的なものに小浜鯖や皇室に献上される若狭かれいなどがあります。若狭湾でとれた鯖を一塩して京都へ運ばれたルートは、今では鯖街道と言われています。また、豊富な湧き水で冷やされたたくずまんじゅうは夏の風物詩として人気です。

ACCESS 交通のご案内



お車の場合
【舞鶴若狭自動車道】小浜ICより約5分



JRの場合
東京駅 → 敦賀駅 約170分
大阪駅 → 敦賀駅 約90分
名古屋駅 → 敦賀駅 約90分



敦賀駅よりJR小浜線 約60分
JR小浜駅より徒歩3分



公立若狭高等看護学院

〒917-0078 福井県小浜市大手町 12 号 48 番地

TEL : 0770-52-0162

<https://gakuin.obamahp-wakasa.jp>

